

# 令和8年度 学校経営計画

## 1 経営理念

笑顔いっぱい めくもりのある学校 ～自ら行動し つながることを通して～

## 2 学校教育目標

自ら学び 心豊かで たくましい 子の育成

カリ・マネの柱 自ら考え 行動できる子（問題発見・解決能力の育成）

## 3 今年度の重点目標

学びづくり（研修学習部）	心づくり（生徒指導部）	体づくり（特別活動部）
【目指す児童像】 自ら学ぶ子	【目指す児童像】 自分も友達も大切にできる子	【目指す児童像】 健康で活力のある子
【重点取組】 学習課題に対して自ら学び、学習後「わかった・できた」と実感できる児童の育成を目指す。	【重点取組】 自己決定の場を位置付け、自ら考え選択し活動できる児童の育成を目指す。	【重点取組】 自分の目標に向かって挑戦し、運動することが楽しいと思える児童の育成を目指す。
【具体的方策】 (1) 学校研究の充実により、授業力向上に努めていく。 ・学期ごとの重点共通取組を検証していくことで改善を図りながら、「みんなで学習」と「じぶんで学習」の2つの授業スタイルを年間を通して実践していく。 (2) 基礎的・基本的な知識の定着と確かな学力の向上を図っていく。 ・教育課程に課題重点単元を位置付け、付けたい力を明確にした指導を行い、学期末の検証問題結果から改善すべき指導を共有していく。	【具体的方策】 (1) 1時間の授業の中で、1回は目的に応じた自己決定の機会を設定していく。 ・何を考えるのか、どの方法で考えるのかなど、授業の中で児童が選択する場面を設定し、その効果を検証していく。 (2) タイミングを逃さない「認め・褒め・励ます」指導で、自己存在感を育てていく。 ・さまざまな場面で児童の様子を丁寧に見取り、即時に価値付けていくことで、行動や考え方の良さを児童に広めていく。	【具体的方策】 (1) 1校1プランをもとに体力向上に努めていく。 ・特に柔軟性と持久力を高める運動を年間を通して推進していく。体育の授業では、ウォーミングアップとして、柔軟運動や時間走を取り入れていく。 (2) 体育指導のOJTの充実により指導力向上に努めていく。 ・学期ごとに重点単元を取り上げ、体育指導のOJTで共通指導を行い、体育指導の向上を図っていく。

## 4 目指す学校組織・教職員の在り方

(1) 組織的な学校運営
<p><b>チーム学校・チーム担任制による組織力の向上</b></p> <p>① 組織の一員であるという自覚を高め、共通理解・共通実践を進める。 ・コミュニケーションの活性化と「報告・連絡・相談」の徹底で、ビジョンを浸透させていく。</p> <p>② 一人一人の子供を複数の教員で指導・支援する体制を整える。 ・小さなSOSに気づき、課題に対して素早いチーム対応で解決していく。</p>
(2) 家庭・地域との連携・協働
<p><b>コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進による子供たちへの支援</b></p> <p>① 家庭・地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進める。 ・地域のひと・もの・ことを生かし、計画的に地域に根差した白山手取川ジオパーク教育を充実させていく。</p> <p>② 幼保小・小中の連携を推進する。 ・相互授業参観や体験交流等を通して、教職員間で情報や取組の共有化を図っていく。</p> <p>③ 教育活動の積極的な公開と情報の発信に努める。 ・学校生活の様子等について、授業参観やお便り・HP等を通して周知していく。</p>
(3) 教員の働き方・業務改善に関する取組
<p><b>働きやすさと働きがいのある職場づくりの推進</b></p> <p>① 学び続けることができる環境を整える。 ・校務のDX化や教科等の時数を見直し、勤務時間内に安心して教材準備ができる時間を確保していく。</p> <p>② 専門性が発揮でき、充実感や貢献感が味わえる組織・職場づくりを行う。 ・チーム担任制での指導力向上と校務分掌の適正化を目指し、一人一人にやりがいをもたせていく。</p>